

◆ 立川都税事務所長賞 ◆

「消費税」

狛江市立狛江第一中学校 3年 井口 楓

突然ですがあなたは、「税」という漢字は、“ぜい”以外にも読み方があることを知っていますか？なんと、「貢」という漢字と同じの“みつぎ”です。なぜかというところ、「税」という漢字の旧字は「稅」で、穀物が実った様子を示す「禾」と、人の着物をはがして取るという脱の旧字「兌」が組み合わさったものであり、収穫の一部を抜き取る、つまり年貢、「貢」だからなのです。さて、そんな「税」にはいろいろな種類があります。なかでも、“消費税”というのは、子供から大人まで、全てのものを買う人が払う税で、私たちの生活と非常に密接に関わり合っています。しかし最近、その消費税が5%から8%、そして10%と、じわじわと上昇してきています。現在の10%というのは、100円のものを買ったら10円も消費税として払わなければならないため、私も含め財布の中がピンチという人も多いと思います。では、私たちは何のために消費税を払っているのでしょうか。それは…自分たちのためなのです！消費税は、そのほとんどが社会保障に使われています。社会保障とは、例えば年金、介護、医療、子育てなどの、私たちが安心して生活するために必要な公的サービスのことです。私たち一人一人が、便利に、そして豊かに暮らすために消費税を払っているのです。では、海外の消費税はどうなっているのかというと、調べたところ、なんとフィンランドは日本の2倍近い24%という消費税を払っていることが分かりました。私はそれを見て、「いくら自分たちのためとはいえ、大変な国だな…」と感じましたが、フィンランドの幸福度ランキングを見てみると、堂々の第一位でした！高い税を払っている分、社会保障がとてつもなく充実していて、安定した素敵な暮らしができていることが、国民の幸福度を上げているのだと思います。しかし私は、ものに均一につく“消費税”より、収入に応じた“所得税”を払う方が、国民としては嬉しいのではと思います。収入に関わらず物を買うたびにお金を納めなければいけない消費税とは違い、所得税は、収入の何%、と決められているため、収入が少ない人も助かります。また、そうすることで、年金で暮らしているお年寄りも、お小遣いの少ない私たちも、消費税による負担がなくなります。さらに言ってしまうと、お金をたくさん持っている大企業が、私たち国民に代わって“法人税”を払うことが、一番効率的で現実的です。消費税ではなく所得税、そして法人税、そんなシステムの世の中になっていったら、きっと自然と国民の満足度も上がり、幸福度も上昇するでしょう。つまり、様々な立場、様々な状況の人々から同じだけの消費税を取ることは、逆に暮らしにくさを生んでいると思うので、収入の何割かや、資産に余裕のある大企業による法人税だったり、これからの私たちの暮らしをより良くすることにつながると考えました。